

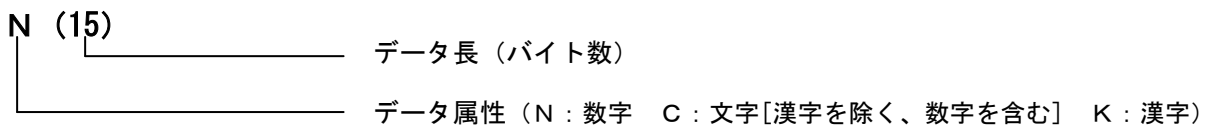
05.口座振替ファイル（CSV形式）

(a) 口座振替業務口座振替ファイル（CSV形式）の基本事項
レコードフォーマット（CSV形式）各表の基本事項を示す。

表1 レコードフォーマットの例

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	金融機関コード	N (4)	請求先金融機関コード		○	
2	ダミー	C (17)	未使用		—	
3	請求先金融機関名（漢字）	K (40)	請求先の漢字金融機関名		△	

・「データ長」欄の見方



・「区分」欄の見方

表2 区分内容

区分欄	内容
‘○’	必ず設定が必要な項目
‘△’	条件により設定する必要がある項目
‘—’	設定なし（初期値を設定）。または入力不要

・設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値について

設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値を初期値として、データ属性ごとに以下のように値を設定する。

表3 設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値（初期値）

項番	データ属性	初期値
1	N	設定不要である。
2	C	設定不要である。
3	K	設定不要である。

(b) ファイル形式

ヘッダ レコード	改 行	データ レコード1	改 行	データ レコードN	改 行	トレーラ レコード	改 行	エンド レコード	改 行
←可変長→	2 バ イ ト	←可変長→	2 バ イ ト		←可変長→	2 バ イ ト	←可変長→	2 バ イ ト	←可変長→	2 バ イ ト

図1 CSV形式のファイル形式

【注意事項】

- ・本ファイルフォーマットはCSV形式とし、項目区切りはカンマ（,）を使用するものとする。
- ・改行コードは、「CR+LF（0d0a）」、「CR（0d）」、「LF（0a）」とする。
- ・エンドレコード後の改行コード及びEOF（1a）は、任意。
- ・ファイル構成は、シングルファイルのみとなる。（マルチサブファイル不可）
- ・データ属性によらず、先頭半角スペース、後半角スペースをシステムで削除する。
なお、全角スペースは削除対象外とする。
- ・ヘッダ・データ・トレーラ・エンドレコード単位の項目数チェックは行わない。

口座振替業務

(c) ファイルフォーマット

表4 ヘッダレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	1: ヘッダレコード	○	
2	種別コード	N (2)	業務種別	91: 預金口座振替	○	
3	コード区分	N (1)	文字コード種別	0: JIS 1: EBCDIC	○	
4	委託者コード	N (10)	委託者コード		△	
5	委託者名	C (40)	委託者名		△	(注1)
6	引落日	N (4)	引落指定日	MMDD	○	(注2)
7	取引銀行番号	N (4)	入金先金融機関コード		△	
8	取引銀行名	C (15)	入金先金融機関のカナ名		—	
9	取引支店番号	N (3)	入金先支店コード		△	
10	取引支店名	C (15)	入金先支店のカナ名		—	
11	預金種目	N (1)	入金口座の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 9: その他 NBセンター代金回収サービスの場合 1: 普通預金 2: 当座預金	△	
12	口座番号	N (7)	入金口座の口座番号		△	
13	ダミー	C (17)	未使用		—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	・ 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 3桁での設定も可能とする。ただし、3桁で設定された場合は、後方の半角スペース削除後、前方に"0"を設定する。

口座振替業務

表5 トレーラレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	8 : トレーラレコード	○	
2	合計件数	N (6)	データレコード件数の合計		○	
3	合計金額	N (12)	データレコードの引落金額の合計		○	
4	振替済件数	N (6)	未使用		—	
5	振替済金額	N (12)	未使用		—	
6	振替不能件数	N (6)	未使用		—	
7	振替不能金額	N (12)	未使用		—	
8	ダミー	C (65)	未使用		—	

表6 エンドレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	9 : エンドレコード	○	
2	ダミー	C (119)	未使用		—	

口座振替業務

表7 データレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	2: データレコード	○	
2	引落 銀行番号	N (4)	請求先金融機関コード	ゆうちょ銀行を指定する場合、 以下の内容を設定すること。 9900: ゆうちょ銀行	○	
3	引落銀行名	C (15)	請求先金融機関の カナ名	ゆうちょ銀行の場合、初期値を設定する。	△	(注1)
4	引落 支店番号	N (3)	請求先支店コード	ゆうちょ銀行の場合、記号の2桁目から 3桁分を設定する。以下の下線部分が該当 する。 例) 1 2 3 4 5 - (記号) 1 2 3 4 5 6 7 8 (番号)	○	
5	引落支店名	C (15)	請求先支店のカナ名	ゆうちょ銀行の場合、初期値を設定する。	△	(注1)
6	ダミー	C (4)	未使用		—	
7	預金種目	N (1)	請求先口座の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 3: 納税準備預金 9: その他	○	
8	口座番号	N (7)	請求先口座の口座番号	ゆうちょ銀行の場合、番号の上7桁を設定 する。以下の下線部分が該当する。 例) 1 2 3 4 5 - (記号) <u>1 2 3 4 5 6 7 8</u> (番号)	○	
9	預金者名	C (30)	預金者のカナ名称		○	(注1)
10	引落金額	N (10)	引落金額		○	(注2)
11	新規コード	N (1)	新規コード	0: その他 1: 第1回引落分 2: 変更分	△	
12	顧客番号	N (20) または C (20)	顧客番号		△	(注1)
13	振替結果 コード	N (1)	未使用		—	
14	ダミー	C (8)	未使用		—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	・ 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 金額が0円の場合、金融機関ホストへの送信対象とならない。なお、確定・承認操作は可能である。